

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和3年2月19日

事業所名:わくわくコスモス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・静・動と活動内容によってスペースを区別している。 ・プレイルームでは、体を十分に動かして遊べるスペースが確保されている。	・プレイルームと活動室をうまく利用して、静と動の活動のメリハリをつけることで子どもたちの気持ちの切り替えや安定につなげていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・必要な利用者には個別に対応ができるように職員を配置している。	・細やかな支援を行うために、グループに分けて、それぞれ複数の職員を配置するなど対応している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・個々の特性に応じて絵カードなどの視覚支援や仕切り板などを使用して構造化された環境を設定している。 ・活動室とトイレがつながっているため、移動がスムーズにできるようになった。	・個々の特性に応じて絵カードなどの視覚支援や仕切り板などを使用して構造化された環境を設定している。 ・活動室とトイレがつながっているため、移動がスムーズにできるようになった。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日の活動前後の清掃と併せて気付いた時には迅速な対応を行い、心地よく過ごせるようにしている。	・今後も清潔で安全な環境で過ごせるように取り組む。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・朝や昼にミーティングを行い、全職員で共通理解や業務改善を図れるようにしている。 ・活動の振り返りを行い、次の活動につなげる取り組みができています。	・今後も全職員がPDCAサイクルのマネジメントで業務改善を意識できるように共通理解を図っていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・評価表は、毎年1月に記入していただき、まとめている。職員にも周知して、家族会で要望などに対しての事業所からの回答や検討などを伝えている。	・連絡帳や送迎時でのやりとりからも、ご家族の意向をくみ取り、寄り添った支援を心がける。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・自己評価結果については、ホームページで公開している。	・自己評価の結果を見直し、より良いサービスや支援の提供ができるように改善を図っていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・第三者による外部評価は実施できていない。	・法人全体の課題と捉えて、実施に向けて検討したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・今年度は、コロナウイルス感染予防のため、外部研修などの実施制限などがあったが、公開療育の実施や法人内でのリモート研修、事業所内研修など、感染予防に配慮し、できる限り研修に参加して全職員で情報を共有している。	・今後も感染症予防に努めながら、研修に参加して、研修報告を確実にし、全職員が情報を共有して、職員の資質向上に努める。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントの様式にガイドライン項目と保育所保育指針の5領域を合わせたものを使用し、より丁寧な実態把握に努め、よりよい計画作成に取り組んでいる。 ・保護者との面談を通して、事業所での様子や家庭、幼、保育園での様子を情報交換している。その際に、保護者の要望も伺って計画に反映している。	・子どもの成長、発達について、アセスメント結果に基づきご家族と一緒に話し合い、情報を共有した上で作成していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・遠城寺式乳幼児分析的発達検査表や子ども総合療育センターからの所見、また、スタッフ派遣事業で来られるやまびこ医療福祉センターの言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士の所見も参考にしている。	・今後も遠城寺式乳幼児分析的発達検査表や療育センターの診断票、やまびこ医療福祉センターの先生方の助言を参考にし、よりよい支援を心がける。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・平成30年9月から、ガイドラインに記載されている支援内容から、支援に必要な項目を設定している。	・令和元年度から、個別支援計画をよりガイドラインに沿った内容に変更した。今後も具体的な支援内容を記載していきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援計画に基づいて支援を行い、活動後には振り返りをして、支援日誌に記録をしている。	・日案は、個別支援計画に沿った個別の支援目標を設定して支援を行っていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・翌月の月案を職員間で話し合うことで、利用者の発達に基づく支援プログラムの立案に努めている。	・翌月の月案を作成するミーティングで話し合い、日案を確認する時点でも個別の対応や支援内容を話し合うようにしている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・年間計画を立て、活動内容やねらいを変更しながらまた、ガイドラインや保育所保育指針、幼稚園教育要領、自立活動などを基盤にしながら取り組んでいる。	・季節を感じる遊びや、感覚などの五感を刺激する遊びなど、伸び伸びと遊べるプレイルームと、じっくり集中した活動ができる部屋をうまく利用して活動に取り組む。園外活動は、野外を中心にして感染症予防に努めながら、社会資源を有効に活用していきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・特性や年齢に合った個別活動と集団活動を組み合わせながら作成している。	・少人数のグループ活動を通して、細やかな支援を心がける。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動時の利用者への配慮事項の確認、担当などを明確にして、共通理解に取り組んでいる。また、送迎ボードを活用していつでも確認できるようにしている。	・今後も共通理解の時間を確保できるように、朝のミーティングの時間を有効に活用したい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動のリーダーを中心に活動の振り返りを行い、次回の活動に生かせるようにしている。 ・ミーティングノートや支援日誌を活用して、支援内容や子どもの様子などを把握している。	・連絡ノートを活用したり、支援日誌、業務日誌を確認することで、情報を共有できるように努めている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援計画に基づいた記録をしている。また、家族支援、地域支援、移行支援に関しても随時記録をとり、支援の検証、改善に努めている。	・今後も支援計画に基づいて、支援内容を記録して、日々の支援内容を振り返るようにしていく。また、家族支援、地域支援、移行支援に関しても記録をとることで共通理解を図り、連携してよりよい支援ができるように取り組む。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・支援会議で計画の見直しを話し合っている。 ・毎月のモニタリング時は、蛍光ペンで印を付けて、振り返りをしやすいようにしている。	・モニタリング時に毎回、発達検査を行うことで、客観的な視点が持てるようにしている。ご家族のニーズを十分に伺い、本人の強みに注目して、計画の見直しを判断していく。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・例年、児童発達支援管理責任者が担当職員が参加して情報提供を行っているが、今年度はコロナウイルス感染予防のため、電話でのやりとりが多かった。	・相談支援専門員の働きかけにより、担当者会議が実施されているが、今後も感染予防に留意しながら取り組みたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・地区の会議に参加して、保健師や地区の児童発達支援事業所と情報交換を行っている。 ・子育てサロンに参加し、児童民生委員の方とも連携を図っている。	・児童発達支援センターが中心となった会議に参加している。今後も会議に参加して、関係機関と連携を図っていききたい。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・現在、対象者はいない。	・今後の受け入れを考慮して、医療機関との連携について想定した体制を構築していきたい。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・現在、対象者はいない。	・今後の受け入れを考慮して、医療機関との連携について想定した体制を構築していきたい。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・これまでの支援内容や配慮事項を記入した移行支援シートを作成して、情報共有と相互理解を図っている。	・年度始めや利用開始前には園へ訪問して、相互理解に努めていくように今後も取り組む。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを作成して、幼保小連絡会に参加し、情報共有と相互理解を図っている。 ・年度始めや利用開始前には園に訪問して情報の共有を行っている。	・幼保小連絡会に参加して、情報を共有するように今後の努める。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・児童発達支援センターの研修に参加したり、やまびこ医療福祉センターの言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士に指導助言をいただいたり、公開療育を実施して他事業所からも助言をいただく機会を設けている。	・今後も研究、修養に努めていく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・地区の子育てサロンに参加して地域の親子や民生委員の方と関わる機会を設けている。	・園での交流はないが、地域の子育てサロンに参加して、活動する機会を設けている。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・事前に予定を調整して、外部研修に参加している。	・これからも参加をしていく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時や連絡帳に記入するなどして、子どもの様子を伝えていく。またポートフォリオを作成し、情報伝達に努めている。	・普段からのコミュニケーションを大切にしてい、関係作りを努める。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・やまびこ医療福祉センターのセラピストからの助言を保護者に伝えて、共通理解を深めたり随時相談に応じたりしている。 ・必要に応じて、母子療育にも対応し、家庭と連携した支援を行っている。	・職員が家族に対して必要な支援ができるように、研修等を重ねているところである。今後、検討していきたい。
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・見学に来られた際や契約時に説明をしている。	・面談時に確認し、必要であれば再度説明する。	
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・面談時に説明をして同意を得ている。また、支援内容が理解しやすいように絵カードや実物を提示して説明をしている。	・児童発達支援ガイドラインを使用しながら、今後も丁寧な説明を心がける。	
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・面談時に相談を受けたり、送迎時や連絡帳、電話でも随時相談に応じたりしている。	・普段からのコミュニケーションを大切にしてい、関係作りや職員の資質向上に努める。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・年1回行っている。就学児教育相談についての講話、家族同士の話し合いの場が提供できた。	・家族が気軽に参加できるような内容を企画し、顔を合わせたり話ができる場を提供していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談や申し入れがあった際には、できる範囲で迅速に対応している。	・今後も、相談があった場合は、迅速に対応を行う。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月1回、活動内容や写真等を掲載した月報と子育ての情報(参考書より抜粋)を配布している。	・写真を多用して、活動の様子がより分かりやすくなるように、また子育ての情報や療育で取り組む活動の支援内容などを配布して、さらによりよい月報になるように取り組む。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・全職員、取り扱いに注意を払っている。	・今後も取り扱い職員間でも注意を払っていく。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・写真や実物などを使って、イメージを持ちやすくしたりするなど配慮している。また、保護者には、事業所の携帯、SNSを通していつでも連絡がとれるように努めている。	・言葉で表現できない思いを汲み取るなど、相手に寄り添った支援を心がける。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・招待するような機会はまだないが、地域の子育てサロンに参加して交流を行っている。 ・看板がないこともあり、石谷地区ではあまり知られていない。	・今後も、地域の子育てサロンへの参加を継続する。看板の設置を検討する。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・各種マニュアルを保護者に紹介するとともに、毎月、地震や火災を想定した避難訓練を行っている。	・家族への周知は、不十分と思われる。面談時などに、改めて説明する機会を設けたい。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・様々な災害を想定して(火災、地震、風水害、不審者対応)毎月実施している。	・今後も、毎月の避難訓練を実施し、子どもたちの避難行動を習慣化していく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時の聞き取りや保護者からの連絡で確認している。	・今後も、登園前の状態や通院の状況なども含め、細やかな連携を図っていく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			・現在、対象者はいないが、対象者を受け入れた際には、事前の確認と必要な対応を行う。	・契約時に確認を取り、全職員が把握し、十分に注意していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・報告書を作成して、職員間で情報共有することで、安全への意識を高めている。	・第三者委員会で事例集を作成し、全職員が確認し意識を高めるようにする。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止の研修には必ず参加し、報告して周知している。また、事業所内研修においても、人権に関するチェックシートを用いて日頃の支援の振り返りを行っている。	・事業所内の研修で人権に関するチェックシートを定期的に活用し、支援の振り返りを継続して行う。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			・現在、身体拘束を伴う利用者はいないが、対象者が出た時には、対応できるようにマニュアルも策定してある。	・身体拘束を伴う利用者がないので、計画に記載はしていないが、今後対象者がいた場合は検討する。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。